

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地元間伐材と古材を利用した活動拠点の整備による、林業・環境・建築・防災に関する課題解決と教育プログラムの実践～木材加工と内装・小屋裏造作～
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 フォレスト工房もくり 飯山市大字豊田1105
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,056,053 円 (うち支援金: 2,191,000 円)

事業内容

本事業では、多くの人々が森の事を知り、森と関わる必要と考え、森の維持管理や木を伐り出すプロセスを学び、また森林資源を有効に活用する技術や感性を養う「木遣い」ができる人材の育成を目指した。

チェーンソー講習等を通じて、森林管理の技術を学ぶと共に、昨年度までに切り出し製材した木材を使用して、今後の活動の拠点にもなる建家を建築した。



【完成した建家】

【目標・ねらい】

- ・関係人口300名/年(本事業において)年50名伐木造材スキルを持った担手を確保
- ・森林資源の活用を担う学生の学び場
- ・地域と来訪者による森林の環境整備

事業効果

・川上から川下までを一連で体験し、かつ木材を加工して製品(材)にするプロセスを学べたこと、学ぶ機会や場を設定できたことは、非常に意義が大きいことだったと感じている。

・授業・実習・インターンの流れができ、チェーンソーを扱えるようになった人材が、練習をしに来る関係も深まっている。今は信州大学との連携が強いが、森林や森林管理技術、木材の利活用等について学びたいという教育機関や団体との連携を深めていく足がかりとなった。

※自己評価【 A 】

【理由】

3年間続けてきた作業をやりきることができた。トータル来場者数は366名で、関係人口でもあるが、新たな「木遣い」ができる人材が生まれた。伐木造材講習は、森林整備や災害対策においても意義を感じることもあり、継続した取り組みにできるよう、引き続き各機関と協力していきたい。

今後の取り組み

事業を通じて3年間で延べ350名以上の関係人口を生み出し、今まで林業現場やこの土地のことを関わる人がなかった人が本事業を通じて知る機会につながり、繰り返し通う人もでてきた。また、参加者の中に、県内の地域木材を扱い設計施工する工務店に就職する者や、県外に就職したものの、ここでの体験や繋がりを失わないように、通って作業に参加する参加者がでてきた。今後も、森林の保全や森林資源の利活用を通じた人材育成や関係人口の創出を目指して活動を継続していきたい。